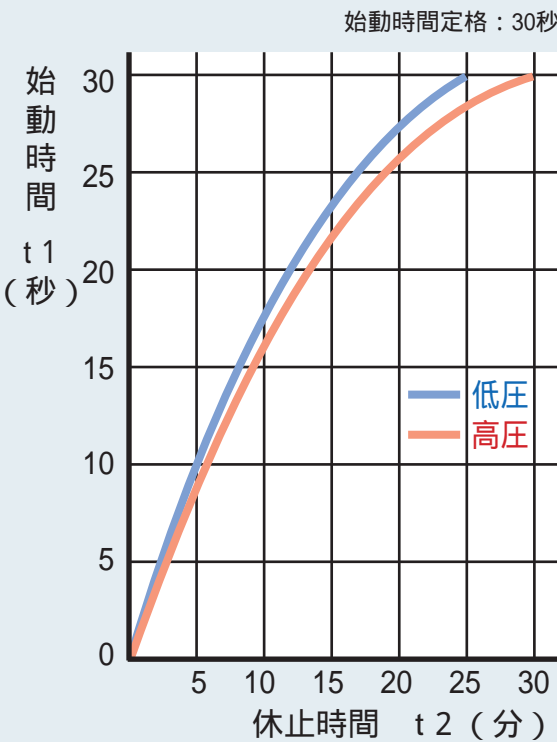


始動時間対休止時間表

特殊コンドルファ始動器  
Vスター



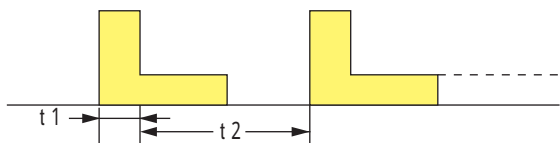
連続始動回数

$$N(\text{回}) = \frac{30(\text{秒})}{\text{電動機の始動時間(秒)}}$$

少数点以下切捨て

間欠負荷への適用

この表は、始動時間  $t_1$  (秒)と休止時間  $t_2$  (分)との関係を表しています。

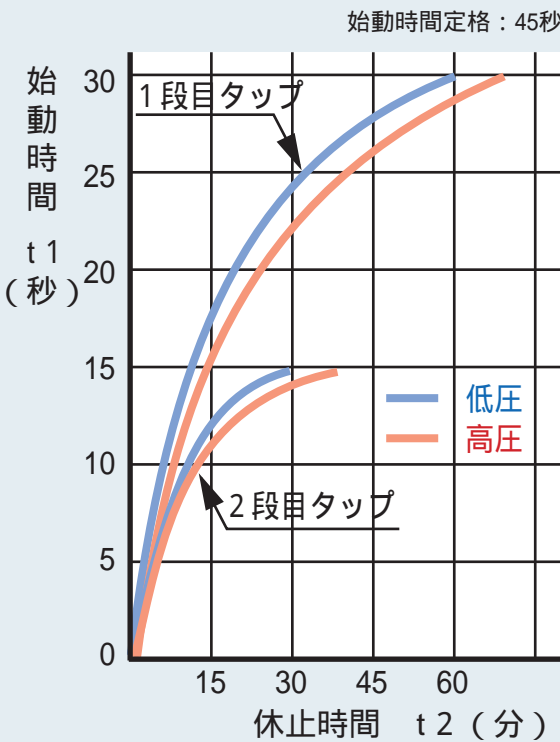


例：始動時間が10秒の時、休止時間を5分以上取ればその繰り返し使用が可能です。(低圧の場合)  
運転時間は休止時間としてカウントします。

基準周囲温度

40

可変トルクリアクトル始動器  
VTスター



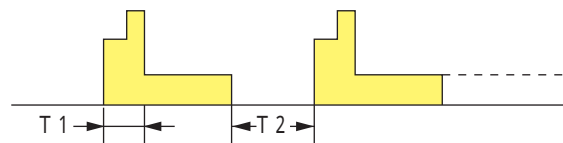
連続始動回数

$$\begin{aligned} \text{1段目タップ... } N1(\text{回}) &= \frac{30(\text{秒})}{\text{電動機の始動時間(秒)}} \\ \text{2段目タップ... } N2(\text{回}) &= \frac{15(\text{秒})}{\text{電動機の始動時間(秒)}} \end{aligned}$$

$N1$ と $N2$ の少ない方を連続始動回数とします。

間欠負荷への適用

この表は、始動時間  $t_1$  (秒)と休止時間  $t_2$  (分)との関係を表しています。

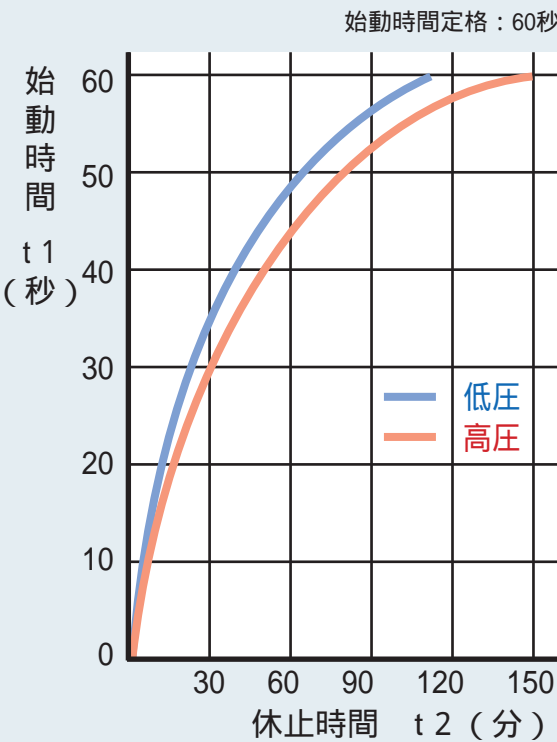


T1... 1段目と2段目に於ける始動時間  $t_1$  の合計  
T2... 1段目と2段目の各々の  $t_1$  に対する  $t_2$  の合計

基準周囲温度

40

コンドルファ始動器  
Cスター

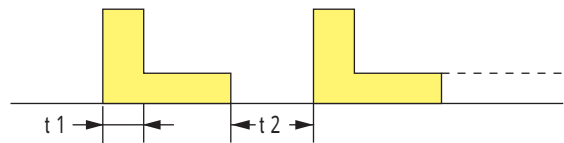


連続始動回数

$$N(\text{回}) = \frac{\text{始動時間定格(秒)}}{\text{電動機の始動時間(秒)}}$$

間欠負荷への適用

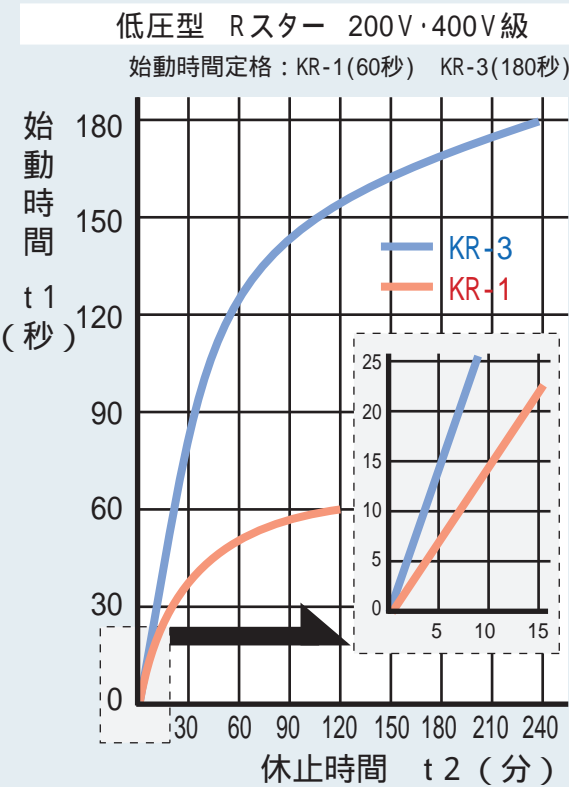
この表は、始動時間  $t_1$  (秒)と休止時間  $t_2$  (分)との関係を表しています。



基準周囲温度

40

リアクトル始動器  
(低圧型：Rスター 高圧型：Nスター)



高圧型 Nスター 3000V・6000V級  
始動時間定格：180秒

